



技術流出対応のためのグループガバナンス構築支援

コア技術を可視化し、グローバルでのグループガバナンス構築を支援します

事業のグローバル展開、サプライチェーンリスクの高まり、技術移転の増加、経済安全保障政策の強化に伴って、企業の重要な機密情報であるコア技術の流出リスクが高まっています。技術流出リスクは、国内本社のみの問題ではなく、グループ企業、とりわけ海外関係会社などのサプライチェーン上のステークホルダーを起点として発生するケースが少なくありません。

PwC Japan有限責任監査法人はこうした課題に対し、グローバルでのグループガバナンスを軸に据え、グループ各社で生じる流出経路への対策を統合的に設計・実装します。「本社によるガバナンス」と「現場における対策」をリスク評価結果に基づきワンストップでつなぐことで、対策の抜け・漏れおよび拠点ごとの統制整備のばらつきを同時に解消し、グループ全体の技術情報漏洩対策に資する体制づくりを支援します。

本社：機能軸ごとのグローバルでのグループガバナンスの構築・整理

人

グループ内でのHR管理、教育体制構築

モノ

物理デバイスを用いた出力の制限

情報

アクセス権限管理

契約

NDA／共同研究契約項目の標準化



本社を含むグループ会社：技術流出経路に基づくリスク分析

人を通じた流出



現地スタッフの退職や持ち出しの対策

JV・共同研究からの流出



パートナー企業による意図的な情報転移の予防

サプライチェーン経由の流出



サプライヤーや受託者経由の情報流出への対策

技術流出の発生経路と対策

グループを起点とする流出は、主に3つの経路で発生し、特に国外を経由する際にリスクが一段と高まります。リスク対応策の検討においては3種類の流出経路ごとに、サイバーセキュリティおよび管理体制の側面を意識し、「人・モノ・情報・契約」の観点でのグループガバナンスで横串管理することが重要です。



グローバルでのグループガバナンスによる「人・モノ・情報・契約」の横串管理が重要

当法人の強みと支援のステップ

PwC Japan有限責任監査法人は、技術流出に係る関連領域の専門性の有機的な連携、グローバル企業のガバナンス構築実績、情報管理およびデータガバナンスの専門性という3つの強みを有しています。当サービスでは、これらの強みを基に、技術流出の防止に向けた体制の整備を4ステップで支援いたします。

- | | |
|----------------------|---|
| ① 関連領域に係る専門家の有機的な連携 | グループガバナンス、リスク管理、法令対応、システム対応、セキュリティ管理支援の専門家が、グループ内で密に連携する体制を有しています。 |
| ② グローバル企業のガバナンスの構築実績 | 法制度や商慣習が異なる海外拠点に対する内部監査、グループコンプライアンス体制構築、各国法制度対応の豊富な実績を有しています。 |
| ③ 情報管理・データガバナンスの専門性 | ISMSやNISTなど、システムセキュリティのフレームワークに係る知見や情報管理体制構築、個人情報保護との統合対応についての豊富な支援実績を有しています。 |

強みを基礎に、技術流出防止のための体制構築を4ステップで支援



本サービスに関するお問い合わせ

ご関心をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。
Webサイトにて、本サービスの詳細も紹介しています。



お問い合わせ



サービス詳細

特記事項

PwCグループの監査クライアントである企業、ならびに監査法人やコンサルティング会社など、類似の専門サービスを提供する事業者におかれましては、本サービスをご提供することができません。誠に恐れ入りますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

© 2026 PricewaterhouseCoopers Japan LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.